

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	4 成績評価及び修了認定
小項目	4.0.1 成績評価
要素	<p>①学修の成果に係る評価(以下、「成績評価」という。)が、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして行われており、次に掲げるすべての基準を満たしていること。</p> <p>(1)成績評価の基準が設定され、かつ学生に周知されていること。</p> <p>(2)当該成績評価基準にしたがって成績評価が行われていることを確保するための措置がとられていること。</p> <p>(3)成績評価の結果が、必要な関連情報とともに学生に告知されていること。</p> <p>(4)期末試験を実施する場合は、実施方法についても適切な配慮がなされていること。</p> <p>②学生が在籍する会計大学院以外の機関における履修結果をもとに、当該会計大学院における単位を認定する場合は、当該会計大学院としての教育課程の一体性が損なわれていないこと、かつ厳正で客観的な成績評価が確保されていること。</p>
小項目	4.0.2 修了認定及びその要件
要素	<p>会計大学院の修了要件が、専門職大学院設置基準の定めを満たすものであること。この場合において、次に掲げる取扱いをすることができる。</p> <p>ア 教育上有益であるとの観点から、他の大学院において(他専攻を含む)履修した授業科目について修得した単位を、各会計大学院が修了要件として定める30単位以上の単位数の二分の一を超えない範囲で、当該会計大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすこと。</p> <p>イ 教育上有益であるとの観点から、当該会計大学入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位を、アによる単位と合わせて各会計大学院が修了要件として定める30単位以上の単位数の二分の一を超えない範囲で、当該会計大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすこと。</p>

○2009年度からの目標

1. G P A分布について、クラスおよび科目間で隔たりがある場合にはその理由を明確にする。
2. 修了生の質保証のために、過去の修了生の個人別平均G P Aを検討するなどして、一定水準以上のG P Aを修了要件にするなどの措置を検討する。

○指標

1. G P A分布 (クラス別平均G P A)
2. 個人別平均G P A